

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所

第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



**イマジン
ロータリー**

IMAGINE ROTARY

第1588回例会 令和4年7月28日(火)

【会長の時間】

皆さん、こんばんは。かなり激しい雨が降っています。親睦例会の時には趣味に絡んだ人生的なものを紹介させて頂きます。能に絡んだ考え方を紹介します。

能楽師の安田登さん、自身は能関係からの生まれではなく、高校の教師をしていて、能に出会って虜になり、能楽師になった人です。この人の本から紹介します。

今日は能の考え方と日本企業の話で、タイトルは「老舗企業のごとき営業形態」です。

観阿弥（1333～1384）と世阿弥（1363～1443？）父子の時代からおよそ650年の命脈を保ってきた能は、これから数百年後にも上演されていることでしょう。ひとつ芸能を長年守り続けて来た能のあり方は、老舗企業と同じです。日本には世界でも老舗企業の数が多く、創業200年を超える会社は世界で5,600弱ほどですが、その半分以上を日本が占めるそうです。日本の百年企業は33,000社ほど、創業200年を超える会社は2,000強、なんと創業500年を超える会社は400社もあるとか。

日本には企業体が長く続く背景があるようです。「能」は、この400社と比べても遜色ありません。というより、もしかすると話は逆で、この多くに、能のあり方が影響を及ぼしているかもしれません。最近は企業のライフサイクルが短くなっているとはいえ、「能」と似た構造を持つ企業は、長く活動を続けています。こんなにも長い間、続いてきた理由とはなにか。それを可能にしているものは何か。

すばり、答えは「初心」と「伝統」です。
 「初心忘るべからず」

これが能を大成した観阿弥・世阿弥親子が残したものとも有名な言葉です。能に関連した言葉とは思わず、私達は「それを始めたときの初々しい気持ちを忘れてはいけない」という意味でこの言葉を使っています。しかし、実は世阿弥はこのような意味では使っていません。世阿弥自身もさまざまな場面で使っていて、文脈次第で意味は変わりますが、初心という言葉の意味だけをお話しましょう。

初心の「初」という漢字は「衣」編と「刀」



畠 徳治

から出来ており、もとの意味は「衣（布地）」を刀（鉄）で裁つ」すなわち「初」とは、まっさらな生地にはじめて刀（鉄）を入れることを示し、「初心忘るべからず」とは「折あるごとに古い自己を裁ち切り、新たな自己として生まれ変わらなければならない、そのことを忘れるな」という意味なのです。

【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より

- ①新型コロナウィルス新規感染者再拡大についての注意
- ②ガバナー公式訪問月信原稿提出について
- ③R I会長メッセージ
- ④R I理事を選出する第2ゾーン指名委員会への推薦



2. 秩父音頭まつり実行委員会より秩父音頭まつり中止の連絡

お誕生日おめでとうございます



宮前会員

奥様
仲子さん

ニコニコボックス

♪今日は妻、仲子の誕生月です。本日が誕生日です。花束を頂き、ありがとうございました。
 宮前 英雄

♪孫の念願の甲子園出場が決まりました。山形県鶴岡東高校、背番号7の小林昇一郎です。もし時間がありましたら、応援お願ひ致します。
 小林 一夫

合計 15,000 円

出席率 100%

謡曲 「熊野」

畠 德治会長

- ワキ詞 「これは平の宗盛なり。備も遠江（とおとおみ）の国池田の宿（しゅく）宿の長をば熊野と申候。久しく都に留め置きて候ふが。老母の所勞（いたわり）所勞とて度々暇を請ひ候へども此の春ばかりの花見の侶（とも）と思ひ留め置きて候。いかに誰かある」
- ワキツレ詞 「御前に候」
- ワキ 「熊野來りてあらば此方へ申候へ」
- ワキツレ 「畏つて候」
- ツレ次第 「夢のま惜しき春なれや。夢の間をしき春なれや咲く頃花を尋ねん」
- サシ 「これは遠江の国池田の宿。長者の御内（みうち）に仕へ申す。朝顔と申す女にて候。」
- 詞 「備も熊野久しく都に御入り候が。此ほど老母の御所勞とて。たびたび人を御上（のぼせ）候へども。さらに御下（くだ）下りもなく候程に。此度は朝顔が御迎ひに上り候」
- 道行 「このほどの。旅の衣のひも添ひて。旅の衣の日もそひて。幾夕暮の宿ならん。夢も数添仮枕（かりまくら）明かし暮らして程もなく。都に早く着きにけり・都に早くつきにけり」
- ツレ詞 「急ぎ候程に。これははや都に着きて候。これなる御内が熊野の御入り候ふ所にてありげに候。まづまづ案内を申さばやと思ひ候。いかに案内申候。池田の宿より朝顔が参りて候。それ御申候へ」



小林 一夫会員



宮前 英雄会員

